

Water Style サミット2016



「Water Style (新しい水への向き合い方
～水を守り育て、贈り使い、大切に還す～)」

神奈川県秦野市の取り組み
「秦野名水の保全と利活用」

平成28年12月5日(木)

国連大学ウ・タント国際会議場

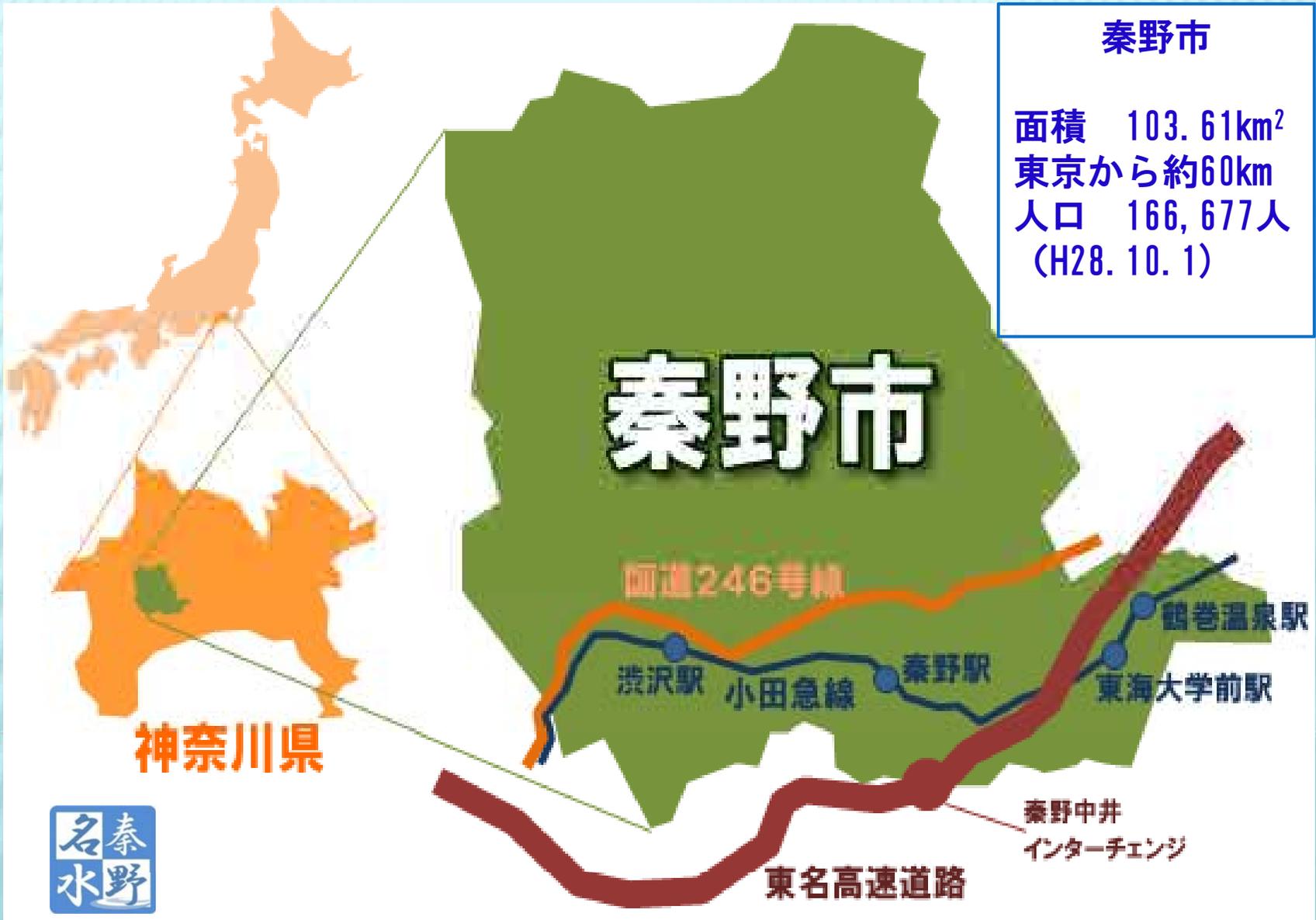
秦野市環境産業部環境保全課 課長代理 谷 芳生

名水百選 選抜総選挙

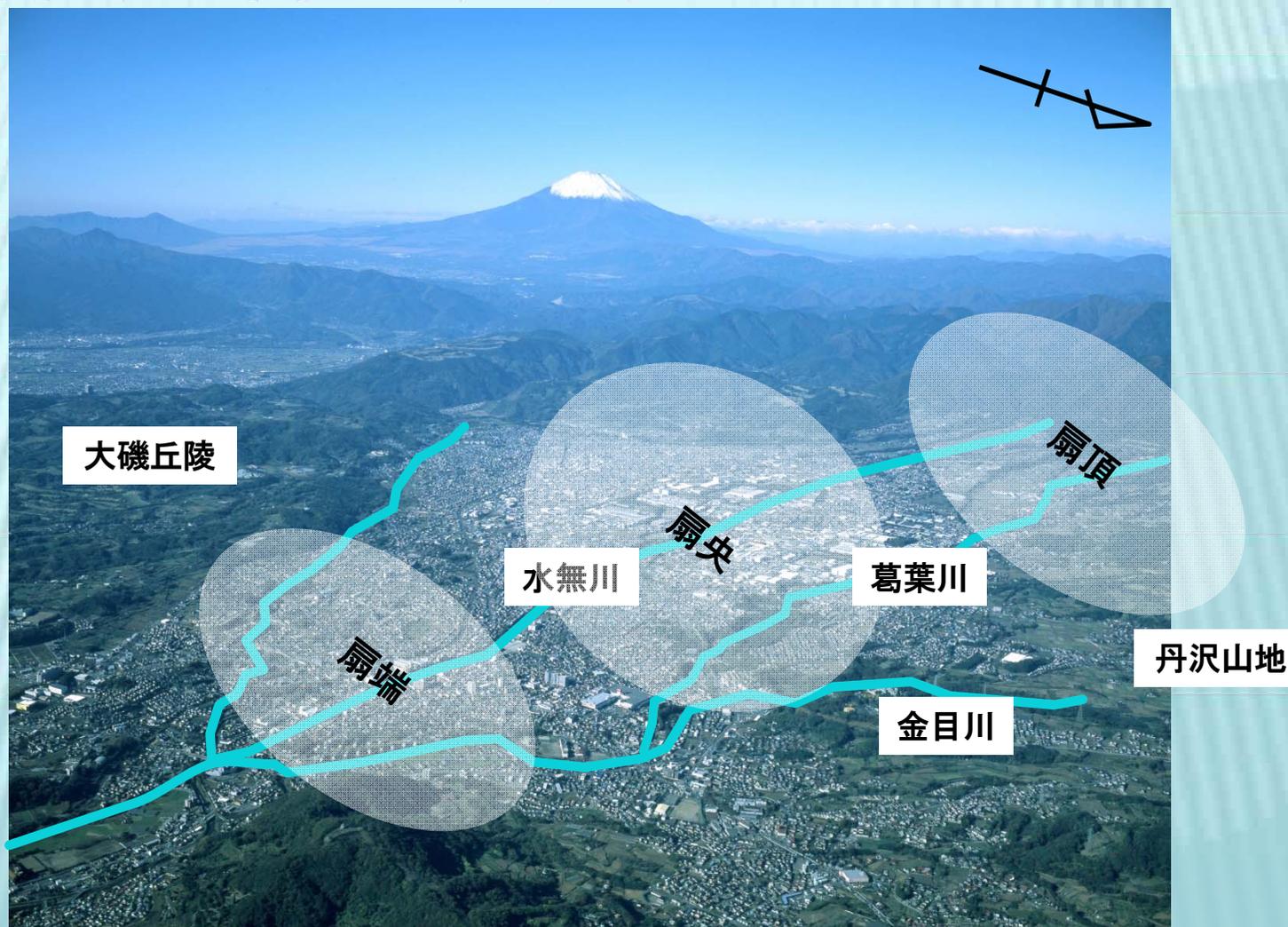


おいしい秦野の水
-丹沢の雫-

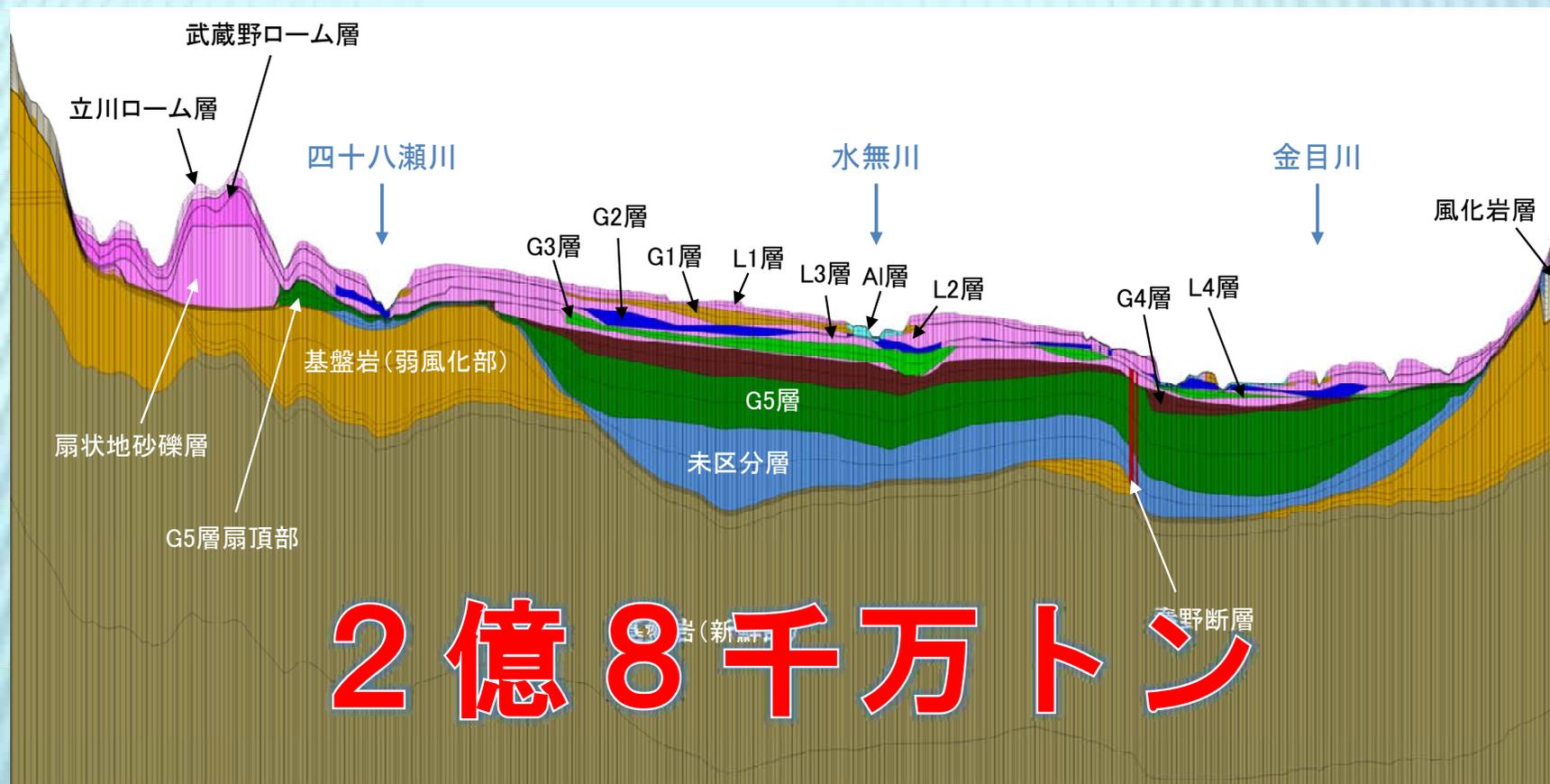




秦野盆地の扇状地地形



秦野盆地の地下水盆（天然の水がめ）



秦野名水の保全



●保全施策（秦野市地下水総合保全管理計画）



地下水の歴史（水量の保全）



●地下水障害の発生

地下水位低下

水道の水圧不足、一部断水

湧水、浅井戸の水枯れ

●水量保全策の実施

地下水調査

かん養事業

条例、要綱の制定

第1の危機

地下水の歴史（水質の保全）



●化学物質による地下水汚染

名水百選の汚染報道

水道水源、井戸水の汚染

●地下水汚染対策の実施

汚染実態調査、健康被害防止

地下水汚染対策審議会

条例の制定、浄化事業の実施

名水復活宣言

第2の危機

秦野市の特徴・独自の取り組み



- 地下水が市民共有の貴重な資源であり、かつ、公水であるとの認識

歴史的
背景

地形
地質

使用
実態

施策

条例

秦野市の特徴・独自の取り組み



●地下水利用協力金



企業井戸



水田かん養



注入井戸



里山整備



協力金

秦野市の特徴・独自の取り組み



●秦野市地下水保全条例

昭和48年
環境保全条例

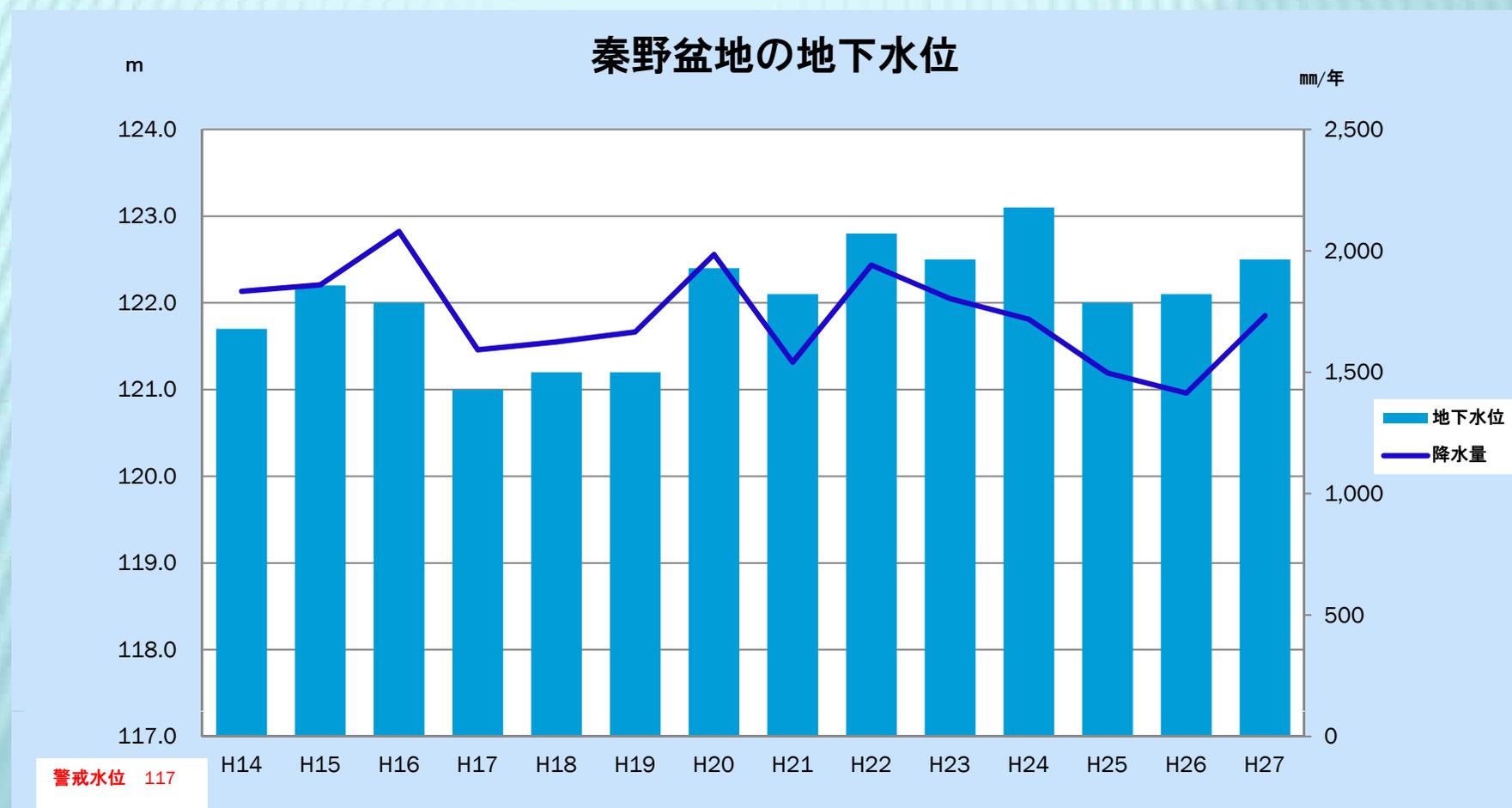
平成6年
地下水汚染の防止及
び浄化に関する条例

平成12年
地下水保全条例

秦野市の特徴・独自の取り組み



● 秦野名水の監視・管理



秦野市の特徴・独自の取り組み



●秦野名水の利活用

「秦野の地域特性を生かした利活用」

- ・ 水収支を考慮し、水量・水質を維持
- ・ 地域の環境・社会特性
- ・ 里地里山との調和
- ・ 秦野名水の名声を広める
- ・ 郷土愛を育む



商標登録第5801251号

第3の危機



●平成23年（ワ）第955号損害賠償（国家賠償）請求事件

訴えの要旨

地下水保全条例で井戸の設置が認められなかったことにより損害を被った。



（イメージ）

第3の危機



- 控訴審：東京高等裁判所平成25年（ネ）
第5975号

判決の要旨

第1審の市敗訴部分を取り消す。



(イメージ)

第3の危機



- 上告：最高裁判所平成26年（才）第668号

決定の要旨
上告を棄却する。

秦野市地下水
保全条例



第3の危機



●東京高等裁判所の見解

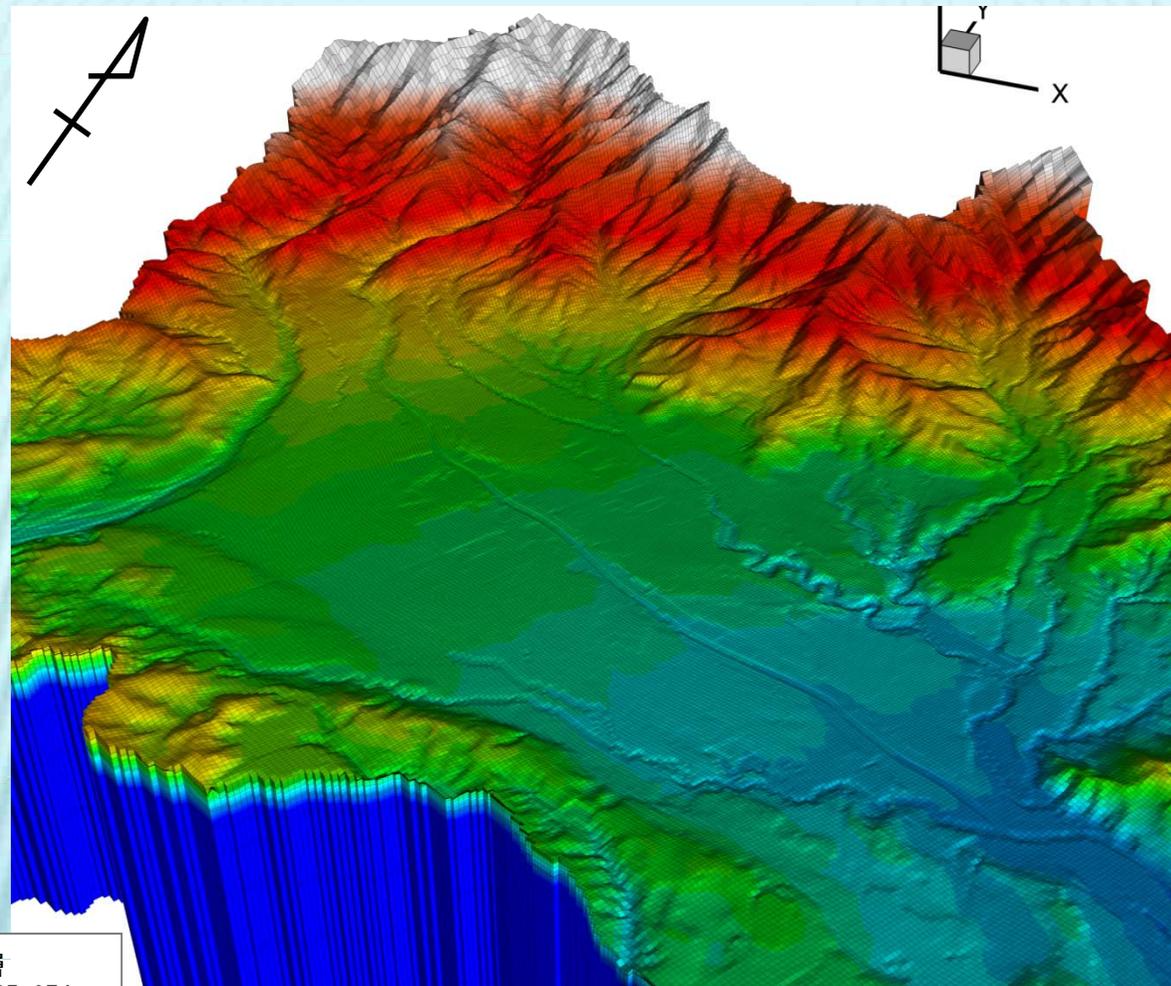
秦野市地下水保全条例による井戸設置の規制は、公益的見地からの合理性を有し、条例制定権を有する市の合理的裁量を超えるものとはいえず、憲法に違反しない。

●水資源管理支援システム

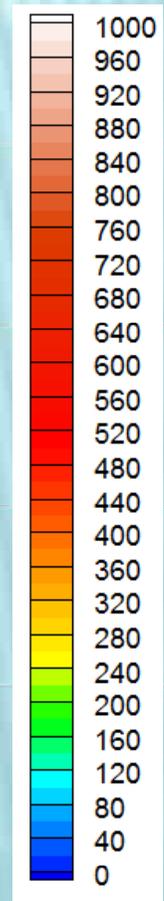
地質データを入力した、水循環シミュレーションソフトを用いて、地下水を資源としてとらえて、管理していくシステム。

あわせて地下水の見える化を図り、インターネットを通じて、地下水に関する情報を広報していく。

三次元数値モデル

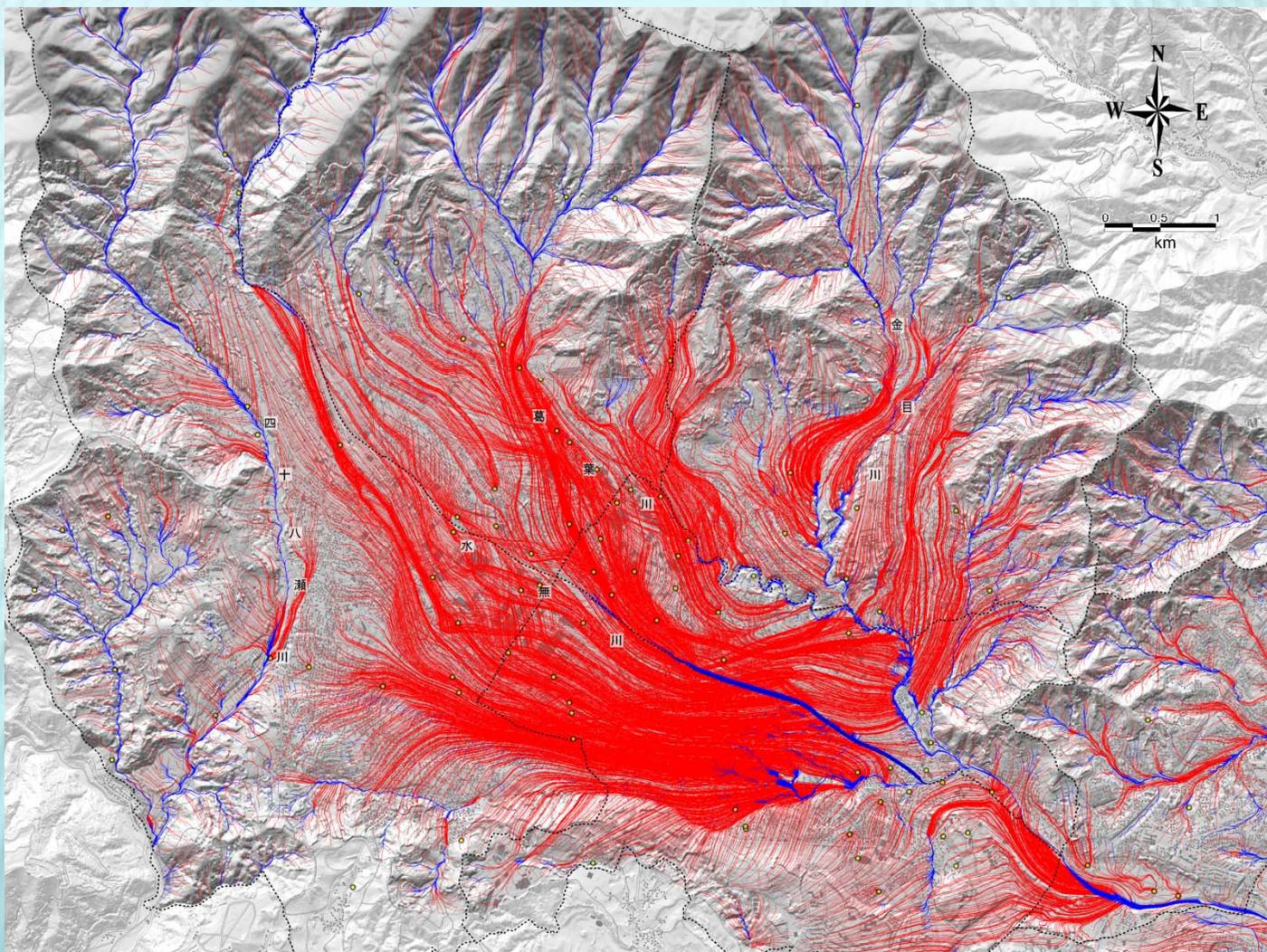


標高 (m)

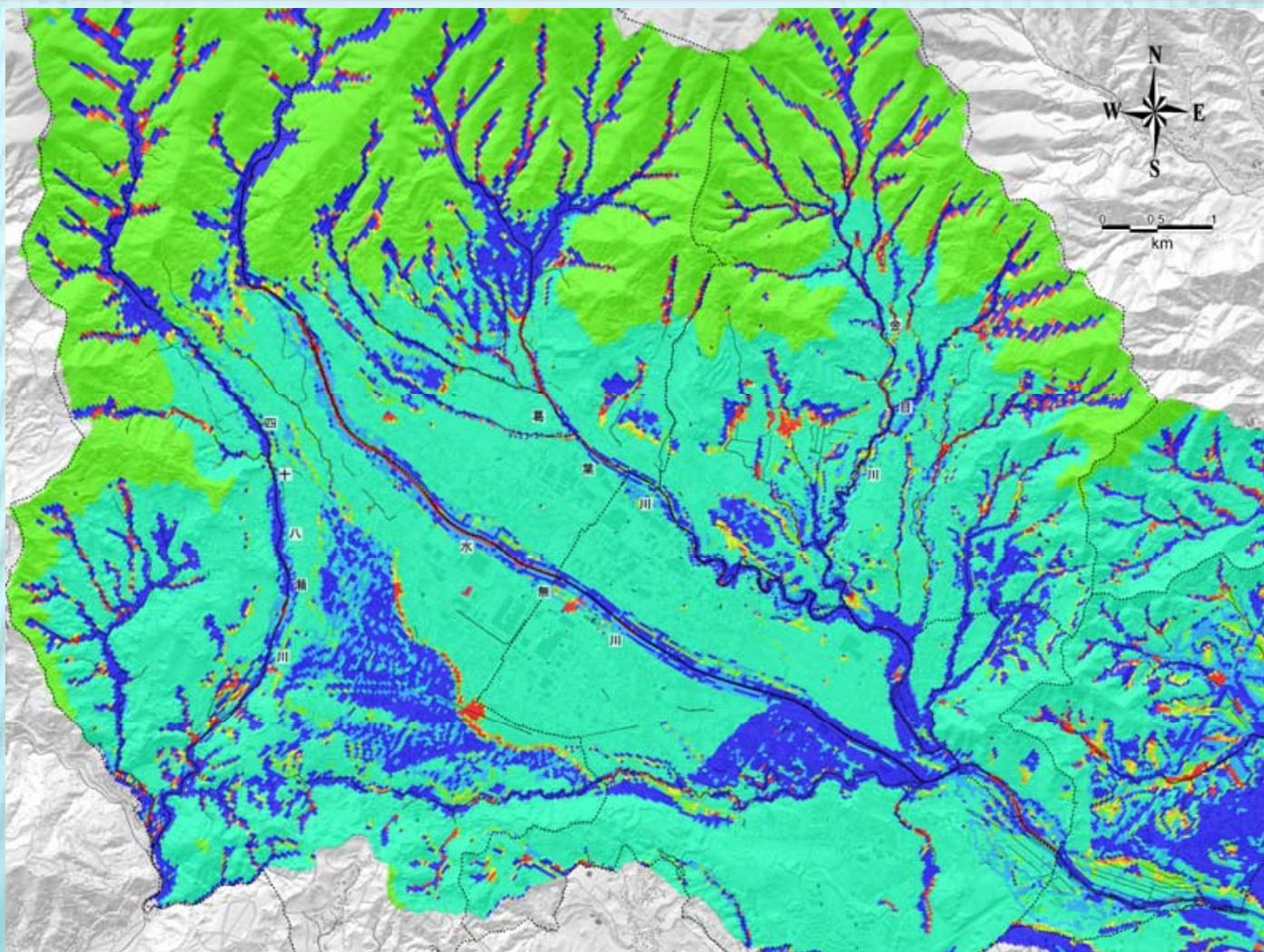


深度方向31層
総格子数3,765,074

地表水・地下水流動経路



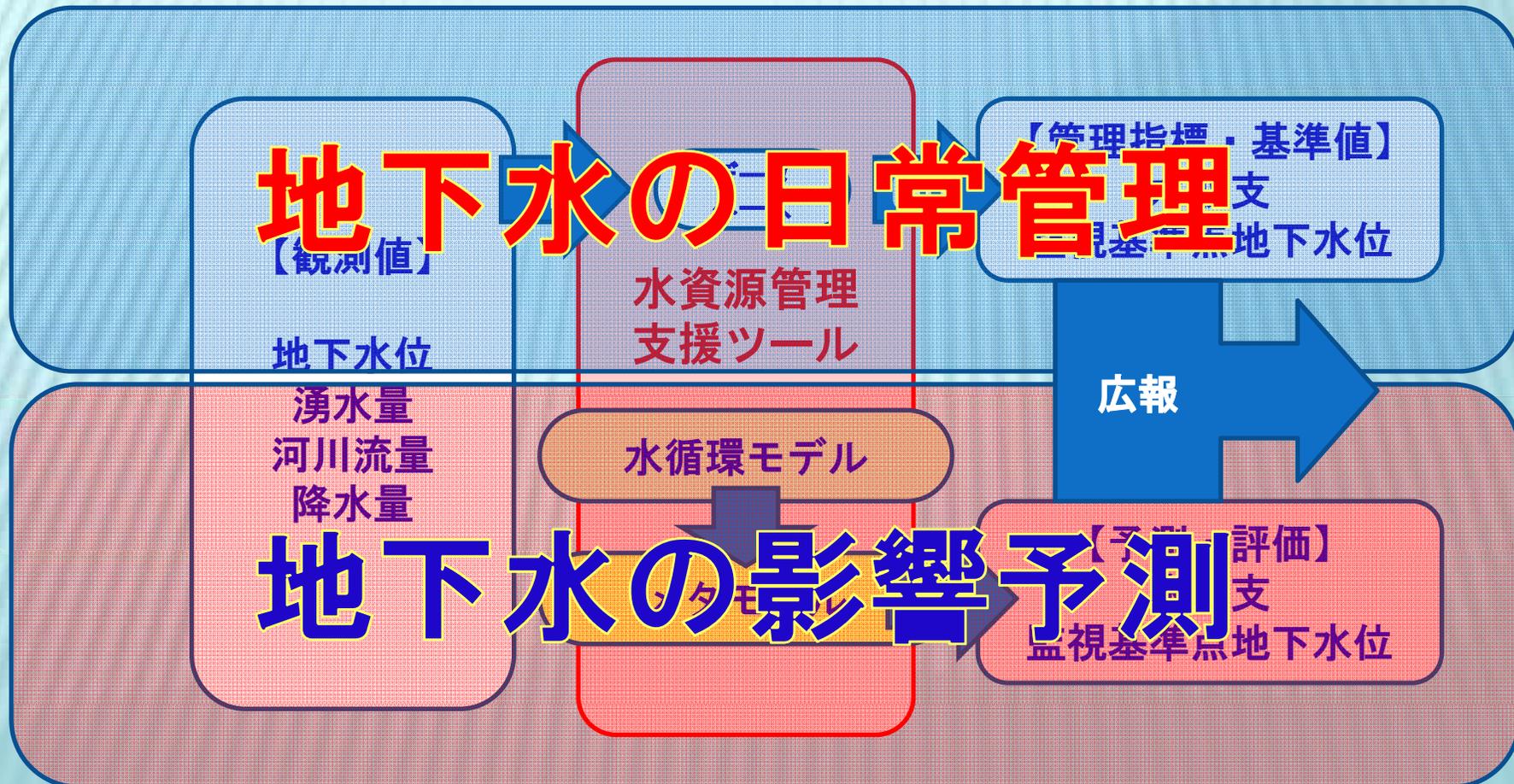
かん養域分布



水資源管理システム



●水資源管理システム



健全で持続可能な水循環の創造



●秦野名水の保全と活用に向けて

秦野名水は、幾多の危機に直面してきたが、その都度、創意と工夫、そして、市民・事業者との協働によって乗り越えてきた。

我々は、これからも先人達が守り育んできた秦野名水を保全しながら有効に活用し、後世に受け継いでいく義務がある。

ご清聴ありがとうございました

於
弘法の清水



平成十六年一月一日

名水復活宣言



平成28年12月5日

Water Style サミット2016【国連大学ウ・タント国際会議場】